



伊原 謙治 会長

国際ロータリー第 2620 地区 2025～2026 年度 RI 会長 フランチェスコ・アレツォ 会長 伊原 謙治 幹事 岡村 吉彦

例会場 富嶽温泉 花の湯 例会日 毎週金曜日 月の最終週は夜間  
事務所 〒418-0003 静岡県富士宮市ひばりが丘 8 0 5 富嶽温泉 花の湯内 公式HP <http://fujinomiya-west-rc.com/>  
TEL.0544-28-1126 FAX.0544-25-8182 Mail [fujinomiyawestrotary@mountain.ocn.ne.jp](mailto:fujinomiyawestrotary@mountain.ocn.ne.jp)

## No.27 通算 1636 号 2026 年 4 月 2 日 (金)

♪Rotary Songs 国歌、それでこそロータリー

**ゲスト**  
なし

### 会長挨拶



**会長 伊原 謙治 君**  
みなさん、こんにちは。  
いよいよ新年度が始まりました。健康に留意して仕事にプライベートに、そしてロータリー活動に充実した一年になるよう努めていきましょう。

前回の例会での会員卓話、後藤さん、坂本さん、大谷さん、片岡さん、貫名さん、ご苦労様でした。ロータリークラブの良さは、幅広い年齢層、職業の多様性、人生観の違いなど、他の集まりの会などと違った縁もゆかりもない集まりのところにこのロータリークラブの良さがあり、こういうクラブだからこそ、自分を成長させ、人生を豊かにできると思いました。そして親睦を深め、地域に貢献して当富士宮西ロータリークラブの名前を高めていきたいと思えます。

私の会長としての任期もあと 3 か月、会長としての役名を最大利用しようと、先月より岡村幹事と二人で休会会員及び退会会員のフォロー活動を始めました。今現在、堀水さん、近藤さん、外木さん、今村さん、宇佐美さんなどを訪問してきました。これからも、退会者及び退会会員のご子息などの身内を伺おうと考えています。当クラブに関わりのあった

皆さん及びご子息に親近感をもっていただければと考えています。出来れば例会にゲストで来ていただければと考えていますので、何かあった際には皆さんのご協力をよろしくお願いします。

### 出席報告

	会員数	計算会員数	出席	欠席	MU	比率
今週	18	16	12	4	0	75,0%

欠席者：※堀水東志夫君、※外木則之君、近藤憲司君  
遠藤克彦君、渡邊奈津実君 阪本佳子君

### 幹事報告

詳細別紙

### 本日のお祝い

- 結婚記念日 堀水東志夫君 (s45, 4, 4)
- 入会記念日 渡邊奈津実さん (H29, 4, 7)
- 創業記念日 堀水東志夫君 (S33, 4, 1)  
竹田浩富君 (T 2, 4, 1)

### スマイル

- 今月もヨロシク！ …若林眞治君
- 春です。桜満開です。 …加藤康雄君
- 春うららの季節です。食後の車の運転は注意しましょう。 …伊原謙治君
- けさ方 うぐいすの鳴き声が完成しました。 …片岡博昌君

○桜が満開 日ざしはあたたかく気持ち良い日です。

今月もよろしくお祈りします。…石川俊洋君

## 本日の予定

### クラブ協議会

担当 次年度会長・幹事

### PELS 研修報告

大谷会長エレクト

2026.3.22(日) 藤枝市にある

「小杉苑」にて会長エレクト  
ラーニングセミナーが行われましたのでご報告いたします。

国際ロータリー章典によると PELS の目的は

1. 次期クラブ会長が次年度の会長となるための準備を整える
2. 地区ガバナーエレクト及び次期ガバナー補佐に、次期クラブ会長の意欲を高め、協力関係を築く機会を提供するとあります。

午前は、稲葉ガバナー、小泉パストガバナーの挨拶をいただき、つづいて藤枝南 RC 若林秀典ガバナーエレクトより RI の話題、方向性の説明、地区の方針・計画等についてお話をいただきました。

若林ガバナーエレクトは「3つの S : Simple, Slim, Smart」という指針を打ち出されています。

複雑になりがちな活動を「Simple」に整理し、本質を見極めて「Slim」な組織運営を心掛け、そして時代に即した「Smart」な奉仕を展開するという三位一体の指針になります。2026-2027年度 RI 会長はナイジェリアのトランス・アマディロタリークラブの所属するオラインカ・ハキーム・ババロラ氏が就任されます。ババロラ RI 会長エレクトは次年度のロータリー活動の根幹となる考え方として

「CREATE LASTING IMPACT」=「持続可能なインパクトを生み出そう」というメッセージを強く打ち出されました。

これは一時的な成果や単発の事業に終わるのではなく、地域社会に長く良い影響を与え続ける活動を目指すことを意味するようです。奉仕の「量」よりもどのような変化(IMPACT)をもたらすかが問われています。特に

- ・事業や奉仕活動における「継続性」
- ・クラブや地区の取り組みが次年度以降も生かされる仕組みづくり

れる仕組みづくり

・会員一人ひとりの関りが長期的な変化につながることの重要性を繰り返し強調されました。これからのロータリーには「何をやったかだけでなく、その活動がどのような変化を生み、どれだけ長く影響を残すか」という視点が求められているようです。

4つの重点事項として

・ポリオ根絶への継続的な取り組み、平和の推進と対話の促進、会員増強とクラブ体験の向上、地域に変化をもたらす奉仕活動、これら4つすべてがつながりあい「持続可能なインパクトを生み出そう」の要素として位置づけられています。

簡単にまとめますと各クラブには広く浅くではなく、地域密着で地域のニーズにしばらく継続的な活動を行っていかうという印象でした。

午後は会長エレクト部会が若林ガバナーエレクトを講師として行われましたが内容は午前とほぼ同じものでした。

その後グループ別会議が行われ事業計画説明、合同奉仕作業、その他連絡確認事項の確認を行いました。

合同奉仕については第2グループでは行わない方針であるとのことでした。

以上簡単ではございますが PELS 報告となります。

### 地区補助金セミナー 遠藤 克彦 委員長

地区補助金について 代読 大谷 裕也 君

皆さんもご存じのとおり、私たち西クラブでは、毎年、富士宮西ロータリークラブカップサッカー大会に協賛しており、「サッカー大会を通して礼儀、友情、健康を育み、また親子の絆を強め、少年の健全育成に貢献できる」を合言葉に協賛の意義を示しています。

この事業に費やす協賛金は、私たちクラブの奉仕プロジェクト委員会の社会奉仕・青少年委員会が予算を計上、計画及び実行となります。資金としては、クラブ内より、半額以上を拠出し、ロータリー財団より補助を申請し残りの金額を拠出します。このロータリー財団からの補助こそが、地区補助金いちゃいちゃです。地区補助金は地区やクラブが計画をしたプロジェクトを支援するものです。地区補助金には、3年前の年次寄付（毎年全会員が納めている寄付）と、恒久基金の前年度の運用収益の25%が充てられま

す。いろいろなプロジェクトに参加して、ロータリーを楽しみましょう。

## 石田道彦 次期幹事



3月22日、大谷会長エレクトと石田次期幹事の2人でPELSに参加しました。

場所は藤枝の小杉苑。10:00に稲葉ガバナーによる開会の点鐘。本会議1に入り、国歌斉唱、ロータリーソング「奉仕の理想」

を歌った後、PELS 実行委員長 早川清人君より歓迎の言葉をいただき、出席者紹介が若林秀典ガバナーエレクトによって、資料説明が 竹田敏和次期地区幹事によって行われた。このあと稲葉ガバナーの挨拶、会長エレクトラーニングセミナーの意義を次期地区ラーニング委員会委員長小泉久司君が話す。RI の話題、方向性の説明、地区の方針計画等を若林ガバナーエレクトが発表、地区予算の説明が伊藤次期地区財務委員長よりありました。1時間45分の本会議1の後会長エレクト部会と次期幹事部会に分かれ、昼食後40分間の分科会1が始まります。10分の休憩をはさんで大谷会長エレクトと一緒に第2グループの分科会2に入ります。10分の休憩をはさみ本会議2に突入します。RI ラーニングファシリテーター野口英一君による講話、委員会からのお知らせがあり米山梅吉記念館理事長挨拶は松村理事長より、この後質疑応答があり、総評は稲葉ガバナー、謝辞は若林ガバナーエレクトと続き、閉会の言葉が鈴木寿幸ホストクラブ会長、閉会点鐘が稲葉ガバナーでした。6時間15分は長いのか短いのか。頭には何も残らなかった。